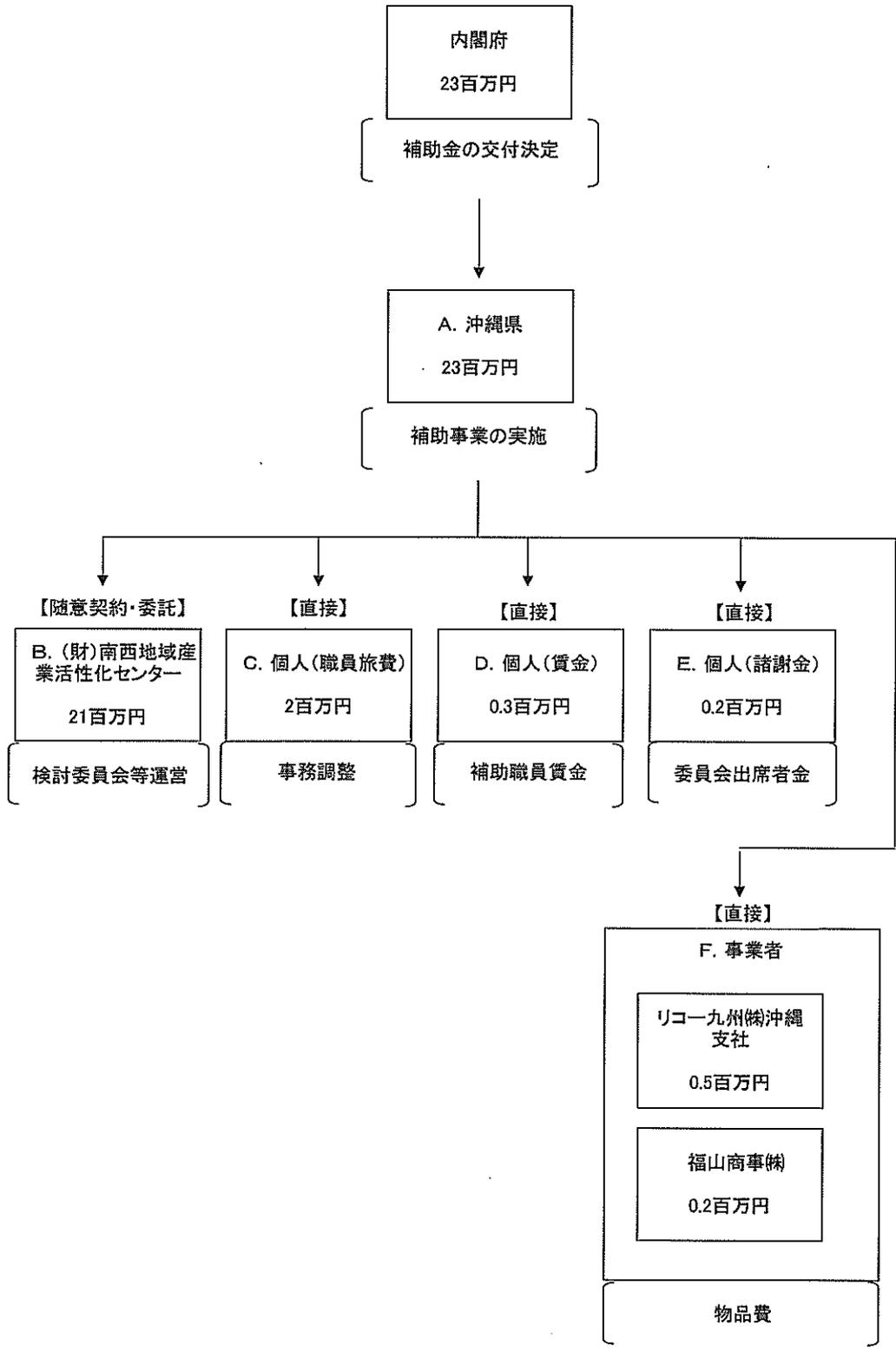


行政事業レビューシート (内閣府)

予算事業名	沖縄離島活性化特別事業 (離島地域広域連携推進モデル事業)	事業開始 年度	平成20年度	作成責任者		
担当部局庁	政策統括官(沖縄政策担当)	担当課室	参事官(企画担当)	参事官 小池裕昭		
会計区分	一般会計	上位政策	沖縄政策の推進			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	沖縄振興特別措置法	関係する計 画、通知等	沖縄振興計画(平成14年7月 内閣総理大臣決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に、3行程度 以内)	沖縄の離島を対象として、単独離島で対応することが困難であり、離島の活性化を図っていく上で課題となっている諸問題について、市町村の枠を超えた広域的な連携を行うことにより、問題解決を図る。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	<p>平成20年度に実施した調査等によって抽出された離島間の広域連携が有効と考えられる事業について、広域連携のモデル事業などを実施。</p> <p>○宮古地域 ・エコツーリズム推進モデル事業 ・エコアイランド支援モデル事業 ・農畜産物商品化推進モデル事業</p> <p>○八重山地域 ・八重山地域国際観光拠点づくり戦略プロジェクト</p> <p>事業期間：平成20～22年度 補助率：3分の2</p>					
実施状況	<p>宮古地域は、広域連携会議において、事業の進め方、モデル事業の概要等を検討し、エコツーリズム推進事業では、①グリーンツーリズム農家民泊事業、②エコツーリズムプログラム作成を実施。エコアイランド支援事業では、①地下水保全推進事業、②環境学習・CSRプログラム開発推進事業を実施。農畜産物商品化事業では、①農畜産物商品化事業、②TMR飼料開発事業を実施。</p> <p>八重山地域は、「八重山地域国際観光拠点づくり戦略構築推進委員会」や「アジア市場研究会」、「欧米市場研究会」、「受入体制研究会」などの研究会において、国際観光拠点づくり戦略のイメージについて等を検討し、台湾向けモニターツアーを実施。</p>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	—	22	23	27	67
	執行額	—	21	23		
	執行率	—	95%	100%		
	総事業費(執行ベース)	—	32	34		
自己点検	支出先・ 用途の把握 水準・ 状況	事業実施期間中に、内閣府から沖縄県に対し、電話及び電子メール等により、事業進捗の確認を行った。また、補助金の額の確定時においては、支出等に関する書類により適正性を確認した。				
	見直しの 余地	本事業は、平成22年度限りとなっており、来年度以降、離島の広域連携の取組の支援を継続していくかどうかについては、本事業の成果や沖縄県の意見を踏まえ検討する。				
化子 手算 —監 視の —所 —効 —見 —率	事業の成果について適切に検証できる仕組みを検討すべき。					
補 記						

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかにつ
いて補足する)
(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	離島地域広域連携推進モデル事業業務委託費	21			
職員旅費	事務調整	2			
計		23	計		
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	委託先人件費	7			
旅費	委員、職員旅費	5			
諸謝金	検討委員会謝金	1			
事務費	消耗品費、印刷製本費等	1			
委託費	モニターツアー等	4			
諸経費		2			
消費税		1			
計		21	計		
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
職員旅費	事務調整	2			
計		2	計		
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		